

社会福祉学部の開設準備と共に、組織の改革案が掲示され検討を重ね一年間の試験的施行をし、本年度新たに二学部の学生を迎えるのに備えました。勿論先輩の在学生には徐々に変更を進めて参りましたので混乱はなく新体制に入る事ができたと言えるでしょう。これら大学の改革につきましては、「聖隸学園報二十四号」と「学報十九号」にも掲載して参りましたが、組織・運営についての改編は大きく分けて、学生の教養・専門の教授と指導部門と学生の学修生活支援部門に分かれ、前者が教員、後者がそれぞれの専門事務職が担当しております、各七つのセンターが置かれております。更に教員組織の各学部委員会代表と事務部門の各センター長とは協議会或いは運営会議により連携を密に図り総合的な学生指導（指導・相談・支援）に対応しております。

部もそれぞれに順調に歩み始めております。学部の増えたことは単に学生数の増と言ふことではなく、学生にとって大きなメリットがあることです。三学部の学生が共通科目として教養科目を合同で一部専門関連科目を共に学ぶことのできるカリキュラムを組んである事で、学部学生間の交流が図れることです。現在、保健医療福祉の各施設、地域においてこれらの連携は益々たかまゝ協働の或いは融合とまで言われるようになつてきました。学生達の活動する時代には、よりその様に進んでいることと思われます。そのためには互いに他職種を理解し尊重し自己の専門性を確実に身につけておく事が必要になりましょう。学部の連携、教員各位の連携が学生達の四年間ないし三年間の学生生活で学修となることを願っております。本学

平成十四年度の始まりは本学にとって大きな革新の幕開けの年となりました。三年余の準備を重ねてきました社会福祉学部の開設に伴い、聖隸学園の発祥とも言える聖隸看護教育(高校)から更に短期大学にと発展し三十余年の歴史を持つ聖隸学園浜松衛生短期大学を看護短期大学部とし、既成の看護学部と共に三学部へと大学の統一化が図られたことがあります。従って、学校名も聖隸クリストファー大学に改名され大学の組織、運営も大きく変わりました。

三学部体制のスタート

聖隸クリストファー大学学長 深瀬須加子

聖隸クリストファー・大学・大学院
聖隸介護福祉専門学校
聖隸クリストファー高等学校

発行者

の保健医療福祉に関する学部を置いていることによる意義があります。二年後の平成十六年には看

護短期大学部を改組転換したりハイブリティーショーン学部(仮称)と社会福祉学部大学院を増設の予定で

聖隸學園宗教主任
聖隸クリストファー大学 教授
佐柳 文男

〒433-8558
浜松市三方原町3453
電話／053(436)5311
<http://www.seirei.ac.jp>

わたしたちもまた、
おびただしい証人の



▲入学式

私たちにはおびただしい数の証人の群れに囲まれています。私たち以前に神が定められたゴールを目指して完走した人々がいます。彼らが証人として私たちを囲んでいます。私たちは、聖隸歴史資料館を訪れるときに、おびただしい数の証人の群に囲まれていることを知ります。

社会福祉学部が始まりました

社会福祉学部長　遠藤久江

社会福祉学部は二〇〇二年四月、九十八名の新入生と二十五名の教員(完成年度までには三十一名になります)でスタートしました。この時まで多くの方々のお祈りと、有形、無形のご支援があつたことをこころより感謝申し上げます。社会福祉学部の新入生九十八名の出身地は静岡県内八十二名、それ以外は十六名となっています。

専門教育は資格制度に規定さ
る傾向にあり、社会福祉学部で
も社会福祉士か精神保健福祉士の
国家試験受験資格、あるいは介護
福祉士免許を獲得することになっ
ていますので、これから四年間は、
気の抜けない日々が続いていくと思
います。

新歴史資料館を開設することができました。歴史資料館は二十三年ほど昔、創設に関わった方がお元気なうちに聖隸の創立の精神を学び受け継ぎたいと願い、一九八〇年、聖隸五十周年の聖隸学園の記念行事として聖隸に関わる資料の蒐集を始めたことによります。まず長谷川家にあつた写真や長谷川保が国會議員をしていたころの貴重な資料などを提供して貰ったところ、西村先生や内山徳治さんを始め多くの方々が資料を提供してくれました。

三、創設者長谷川保は「聖隸の働きが神のみこころに適わないものになつた時には、直ちに聖隸を減ぼしてほしい」とたびたび祈っていました。聖隸の歩みの中心には常に神様の導きとそれを求める祈りがあつたことを学んでいただきたいと思います。われわれの働きが神様に導かれ祝されるものであり続けることを願います。

会福社学研究科増設の準備状況について

法人事務局企画部長 小柳守弘

聖隸歴史資料館の開設

理事長 長谷川了

二〇〇四年実施予定の短期大学改組転換(リハビリーション学部増設、看

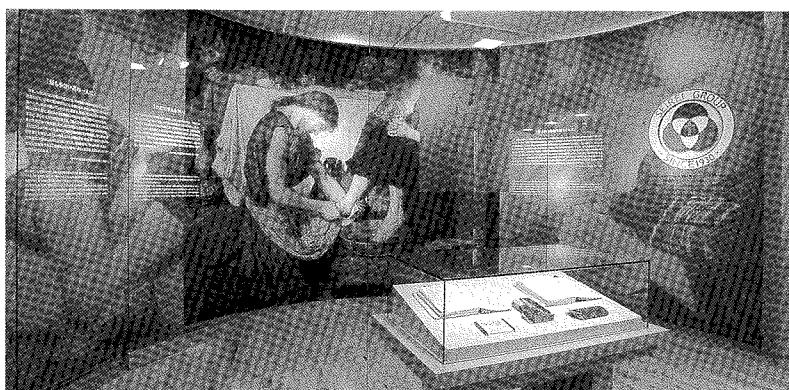
社会福祉学部は二〇〇二年四月、九十八名の新入生と二十五名の教員(完成年度までには三十

なりました。近年、社会福祉の専門教育は資格制度に規定される傾向にあり、社会福祉学部で

新歴史資料館を開設することができました。歴史資料館は二十三年ほど昔、創設に関わった方々がお元気なうちに聖隸

わしい生き方をしたいと願い、主に従つた。その生き様を学んでいただきたいと願います。

会福祉学研究科増設の準備状況について



聖詛歷史資料館

ことの背景には、本格的な募集業務が二〇〇一年十二月の設置認可以後となり、各高等学校はじめ入学希望者に十分な情報伝達が困難であったこと、県内の他大学に類似の学部が新設されたこと等がありました。しかし、関係者の努力や、この地域の高等学校が聖隸学園に寄せる信頼の中では、最終的には定員を上回る入学者が与えられました。早速来年度に向けて、推薦入学の内容の検討、AO入試の実施方法の検討及び三年次への編入生の募集定員十名等、入学者募集方法を検討しています。

度まで順次就任して三十一名の教員になります。教員の専門は老人福祉、障害者福祉、児童福祉、地域福祉、援助技術、実習教育、介護福祉、介護技術等社会福祉の専門領域をカバーしていますが、そればかりではなく、心理学、聖隸集団の歴史、キリスト教学、文学、英語、体育、音楽等、聖隸クリリストファー・大学を特色づける科目を教授する陣容がそろい、社会福祉の担い手としての人格的な成長を多面的に援助できるように考えられています。教員はさまざまなものキャラリアと役割経験を十分に活

にこられて「珍しいものがあった、これ
は最初の患者さん、桑原さんが亡くなつ
た時、記念に立てた記念碑の一部だよ古
い建物の下から見つかった」といつて口
に乗ったキリストのエルサレム入場の
絵が彫られたブロック状のものをもつて
きました。その後資料館は第一級の資料
である恩賜記念館に移され展示されまし
たがさらに事業団側に保存され、このた
び聖隸学園に里帰りしました。今回は電
通関西支社の協力を得て約一年間の準備
を積み重ねて斬新的な新資料館を開設す
ることが出来ました。資料館の入り口に
次の文章を掲げました。

部の増設を行う)する計画と大学院社会福祉学研究科修士課程の増設をする計画が含まれています。これらを進めていく過程で広く内外から意見を聞き、新しい学部と研究科を聖隸の歴史と使命、実績を踏まえたものとしていくために二つの設置委員会を組織します。

この四月には、申請先の官公庁(文部科学省、厚生労働省、静岡県)に対して看護短期大学部の改組転換、大学院社会福祉学研究科の増設計画とともに事前相談が開始されています。今後は具体的な内容について詳細を詰め、更に申請準備を進めしていく予定です。

今後、隨時情報提供させていただきますのでご意見、お気づきの点がございま

ことの背景には、本格的な募集業務が二〇〇一年十二月の設置認可以後となり、各高等学校はじめ入学希望者に十分な情報伝達が困難であったこと、県内の他大学に類似の学部が新設されたこと等がありました。しかし、関係者の努力や、この地域の高等学校が聖隸学園に寄せる信頼の中での中で、最終的には定員を上回る入学者が与えられました。早く速来年度に向けて、推薦入学の内容の検討、AO入試の実施方法の検討及び三年次への編入生の募集(定員十名)等、入学者募集方法を検討しています。

さて、新入生は先輩のいない不安なスタートですが、オリエ

度まで順次就任して三十一名の教員になります。教員の専門は老人福祉、障害者福祉、児童福祉、地域福祉、援助技術、実習教育、介護福祉、介護技術等社会福祉の専門領域をカバーしていますが、そればかりではなく、心理学、聖隸集団の歴史中、キリスト教学、文学、英語、体育、音楽等、聖隸クリストファー・大学を特色づける科目を教授する陣容がそろい、社会福祉の担い手としての人格的な成長を多面的に援助できるように考えられています。教員はさまざまなキャリアと役割経験を十分に活用して、新しい学部を担つていくことになります。多くの皆様

にこられて「珍しいものがあった、これは最初の患者さん、桑原さんが亡くなつた時、記念に立てた記念碑の一部だよ、古絵が彫られたブロック状のものをもつてきました。その後資料館は第一級の資料である恩賜記念館に移され展示されましたがさらに事業団側に保存され、このたび聖隸学園に里帰りしました。今回は電通関西支社の協力を得て約一年間の準備を積み重ねて斬新的な新資料館を開設することが出来ました。資料館の入り口に次の文章を掲げました。

■歴史資料館で学んでいただきたいこと

一、聖隸は多くの人に助けられ支えられて、厳しい困難を乗り越えることが出来、現在にいたつたことを学んで

部の増設を行う)する計画と大学院社会福祉学研究科修士課程の増設をする計画が含まれています。これらを進めていく過程で広く内外から意見を聞き、新しい学部と研究科を聖隸の歴史と使命、実績を踏まえたものとしていくために二つの設置委員会を組織します。

この四月には、申請先の官公庁(文部科学省、厚生労働省、静岡県)に対して看護短期大学部の改組転換、大学院社会福祉学研究科の増設計画とともに事前相談が開始されています。今後は具体的な内容について詳細を詰め、更に申請準備を進めていく予定です。

今後、随時情報提供させていただきますのでご意見、お気づきの点がございましたら、法人事務局企画部企画課までご連絡下さい。

聖隸クリス托ファー高等学校 新校舎及び体育館建築工事着

ついて

校舎は七階建て、体育館は地下一階地上二階建ての設計となつています。校舎外観はキリスト教学校の雰囲気をほうふとさせる聖隸クリストファー大学の校舎の雰囲気を踏襲し、遠目から大学の校舎とともに一目でそれとわかるレンガとアーチ、特徴的な屋根のあるものとなります。校舎内は木や天然の素材を多用し、温かみのある空間デザインを基調とし、全館冷暖房設備を備える他、全教室にLANを敷設し情報化への備えも万全です。一階は吹き抜けの玄関ホールに四m×五mの大きさのステ

体育館は地下一階にクラブ室五室、移動型観覧席を備えたサブアリーナ兼礼拝堂、トレーニングルームを配置し、一階にはバスケットコート二面若しくはバレーボールコート二面が確保できるメインアリーナとクラブ室二室、教員室を配置します。メインアリーナの天井は木造集成材の構造体を見せた美しいものとなる予定です。体育館二階には文科系クラブ室一〇室、体育系クラブ室五室を配置し、校舎二階と渡り廊下でつながれます。キャンパスは校舎を境に南北に高低差が約八mあります。

橋を新たにかけ、校舎へのアプローチに安全性を加える配慮もしています。

今後の工程ですが、五月十六日より約一ヶ月半ほどの準備工事に着工し、校舎と体育館本体の着工は七月一日を予定しています。校舎と体育館の建築は並行して進められ、一〇月頃には躯体工事に入り、約一ヶ月に一階ずつ、二〇〇三年四月には七階までの躯体工事がほぼ終わる予定です。さらに、各階の躯体のたち上がりからひと月ほどの間隔をおいて、各階の設備工事、仕上げ工事に着手していきます。

ニスコート(五面)、全天候型陸上トラックが石川建設(株)(磐田市)の施工により完成し、この工事にあわせて野球場の外野両翼事務店に決定し、設計監理は一粒社ヴォーリズ建築事務所によつて進められます。

物理教室 化学教室 生物教室、音楽室など特別教室フロアーとしました。三階は普通教室七室、第一職員室、放送室四階は普通教室七室、進路室創作教室、小教室四室、五階は第二職員室、普通教室五室、小教室一室、六階は普通教室七室七階には小教室八室と眺望の良い図書館が配置され、校舎にはエレベーターが三機設けられます。

路には自転車及び歩行者専用の
現の場として屋外ステージのあ
る広場を作る計画です。北側水
口ディーがキャンバス全体に時
を知らせます。この他、若い工
付けたカリヨンベルが奏でるメ
んで、南北を見渡せる奥行きの
ある、ゆつたりした配置となつ
ており、校舎屋上の塔屋に取り

二〇〇三年八月の竣工をめざして、いよいよ聖隸クリストフ
ラー高等学校の新校舎及び体育館の建築工事が始まります。す
でに五月末に第一期工事にあた

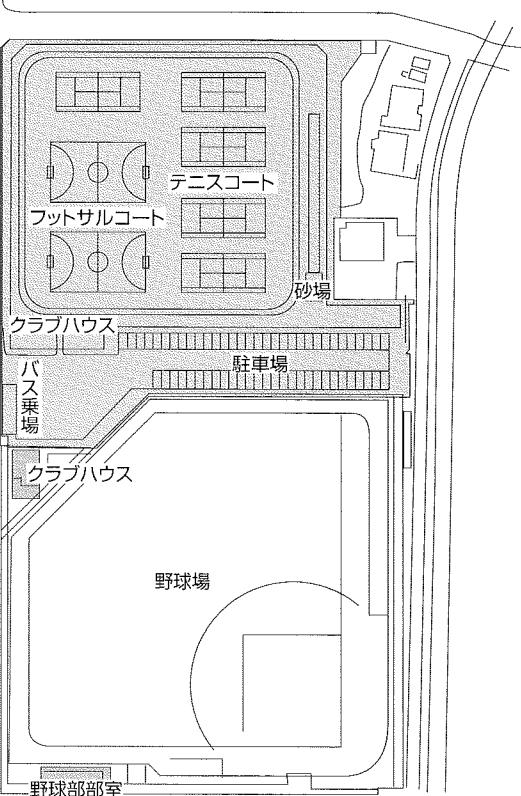
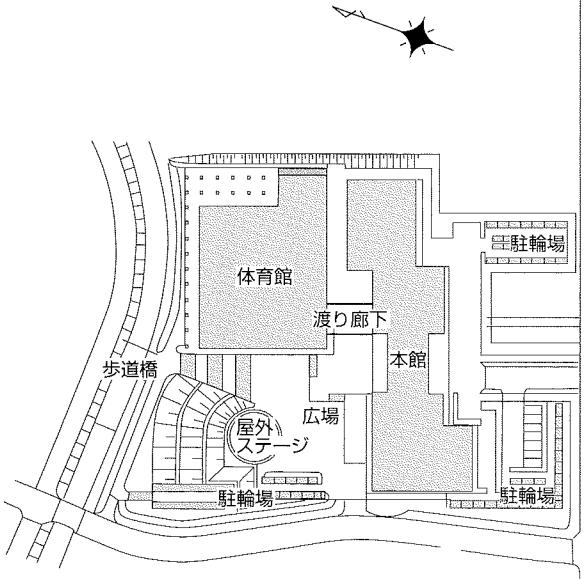
ンドグラスを四枚配し、理事長室・校長室・事務室・会議室・保健室の他、約三〇〇席のカフェテリアを設けます。二階はコンピュータ教室二室、家庭科調

スロープを多用してバリアフリーにも配慮した設計になつてい
ます。また、建物の配置は、ス
テンドグラスのはめ込まれた校
舎エントランスの吹き抜け部分

体育館は二〇〇三年六月中旬に、校舎は六月末には全ての足場が取り外され、その全容を見ることができるようにするはずです。足場が解体されると外構工事が始まり、校舎、体育馆とともに設備工事、内装工事が一気に進み

八月末までに引渡しを受ける予定で工程表が組まれています。

聖隸クリストファー高等学校 新キャンパスでの校舎・体育館配置計画図



◆2001年度決算、2002年度予算について

科目等	2001年度消費収支計算書					2002年度消費収支予算書								
	法人	大学	短期大学	高等学校	専門学校	合計	法人	看護学部	社会福祉学部	短期大学部	高等学校	専門学校	合計	
消費 収入の部	学生生徒等納付金	0	807,720	457,286	401,406	168,540	1,834,952	0	775,160	152,100	461,599	380,645	75,440	1,844,944
	手数料	5,105	27,410	14,558	14,268	611	61,952	0	25,300	21,000	13,350	15,100	400	75,150
	寄付金	2,935	6,012	586	551	0	10,083	0	3,500	0	1,500	1,000	0	6,000
	補助金	0	148,165	89,462	251,844	3,287	492,758	0	147,659	0	86,998	281,677	0	516,334
	資産運用収入	265	5,809	5,134	2,596	1,486	15,289	0	8,400	0	5,250	7,500	1,200	22,350
	事業収入	0	0	0	208	0	208	0	0	0	0	0	0	0
消費 支出の部	雑収入	1,022	7,384	3,654	1,773	86	13,919	0	5,000	0	2,000	3,546	11,770	22,316
	帰属収入合計	9,327	1,002,500	570,680	672,645	174,010	2,429,161	0	965,019	173,100	570,697	689,468	88,810	2,487,094
	基本金組入額	△278,654	53,421	△19,555	97,878	△344	△147,253	479,186	△154,758	△506,125	△22,603	△145,149	0	△349,449
	消費収入の部合計	△269,327	1,055,921	551,125	770,523	173,666	2,281,908	476,186	810,261	△333,025	548,094	544,319	88,810	2,137,645
	人件費	54,348	560,452	349,709	377,548	76,905	1,418,963	68,024	528,491	269,937	360,323	398,089	80,084	1,704,948
	教育研究経費	114	259,891	108,909	136,351	22,025	527,290	0	253,534	69,168	101,073	165,078	18,773	607,626
消費 支出の部	管理経費	63,341	62,656	26,926	23,924	4,935	181,782	48,296	47,167	35,343	27,589	25,189	3,960	187,544
	借入金利済	0	76	7,390	5,210	0	12,676	0	6,975	0	0	22,622	0	29,597
	資産処分差額	0	0	518	249	143	910	0	0	0	2,519	29,771	0	32,290
	予備費	0	0	0	0	0	0	0	4,200	700	2,400	3,100	300	10,700
消費支出の部合計		117,803	883,076	493,452	543,284	104,007	2,141,622	116,320	840,366	375,149	493,904	643,849	103,117	2,572,705
当年度消費収入超過額							140,286							
当年度消費支出超過額													435,060	
前年度継越消費支出超過額							749,693						609,407	
翌年度継越消費支出超過額							609,407						1,044,467	

■2001年度決算

2001年度決算では、12月20日に設置認可され2002年4月1日に開設した社会福祉学部の収入、支出を法人部門で処理しています。大学においては社会福祉学部の設置に伴う2号館の工事が完了し、その新築費用ならびに設計監理料の最終支払い、1号館改修工事費用、機器備品、図書等合計778,509千円を支払っております。また高等学校では移転計画に伴う校舎用地の取得、テニスコートとフットサルコート用地の取得ならびに整備工事費用、さらに校舎設計監理料の一部等、合計392,148千円を支払いました。基本金組入額については、法人では社会福祉学部に係る組入を行いました。大学では2号基本金の法人への振替を行い、高等学校では過年度組入高の減額修正を行ったため、何れもマイナスの組入となりました。当年度の基本金組入額は147,253千円、消費収支差額は140,286千円の収入超過となりました。

こうした資産の取得により、貸借対照表にみる資産の合計は前年度より1,248,551千円増加して9,719,355千円となっています。また、それらの支払いに充当するため、大学で300,000千円、高等学校で548,000千円、計848,000千円の借入を行っています。2001年度は第二次10ヵ年計画に向けた流れの中で安定した学校経営が続いている、今後の計画に必要な財源をも確保することができた決算となりました。

■2002年度予算

2002年度予算では、新たに事業別予算を導入しました。これは従来の形態別分類予算を目的別分類予算に変更し、教育研究経常費、学生経費、入試・募集経費、施設設備費、一般管理費の5つに大きく分類して、事業の費用対効果を推測するとともに、政策的、重点的、効率的な予算配分を行おうとするものです。

消費収入の部の特徴としては、2002年度は社会福祉学部開設年次であり、同時に介護福祉専門学校は募集停止して在学生が2年次生のみとなるなど、変則の年度になっています。また、基本金組入額は349,449千円を計上しています。その内訳として大学では社会福祉学部増設建築工事費の振替、社会福祉学部の増設に伴う追加工事費、外構工事費、聖隸歴史資料館設置費用、キリスト教センター建築工事費、テニスコート整備工事費等を組み入れます。高等学校ではテニスコート、フットサルコート等の整備工事費や野球部室新築工事費のほか新校舎設計監理料の支払額等を組み入れます。法人の基本金組入額は、社会福祉学部設置等に伴う建設仮勘定分を大学に振替えるとともに、3号館新築費用の当年度支払額を組み入れたものです。

消費支出の部においては、開設年次の社会福祉学部で26名の専任教員を、募集停止の専門学校で5名の専任教員を人件費に計上しています。社会福祉学部の経費については、在学学生数に関わりなく、看護学部での実績等により査定した額を計上しています。また、高等学校の移転に伴い、第2テニスコートの除却等を資産処分差額として計上しています。

以上により2002年度の収支差額は435,060千円の支出超過となる見込みです。

●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について												
●満足度調査について</td												